

授業科目	生涯発達心理学Ⅱ（幼児期～老年期）				
担当者	森田善治・森定美也子 他				
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学 年	1 年	総単位数	1 単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

### ■ 授業目的・内容

- ・ 老年期のエイジングとパーソナリティー、認知症の問題、死への対応について解説する。老年期のエイジングとパーソナリティーについて理解を深め、STが如何に対応すべきかを学んで頂きたい。（森定 他）
- ・ ボウルビーのライフサイクルを中心に生涯発達の課題について講義し、それぞれの時期ごとにみられる子どもの心理的問題や精神的問題にも目を向けることによって人間の心の発達を概観する。（森田）

### ■ 到達目標

- ・ 各発達段階の課題や病理について理解し、適切なアプローチについて考えることが出来る。（森定 他）
- ・ ①ボウルビーの述べる発達課題について理解する。
- ②各発達課題を経過する際に我々は様々な問題に出会う。それらの問題の形成を知ることで、人が成長することの難しさと、それ故に表現される心の叫びを理解する。
- ③発達課題を通過してきた受講者自身の体験を通して、生涯発達の理解を深める。
- ④言語、聴覚の障がいとされるコミュニケーションのハンディがもたらす心の叫びを理解する。（森田）

### ■ 授業計画

- 第1回 精神分析学の観点から母子関係を主体にした発達について（森田）
- 第2回 ボウルビーの発達課題を中心にして幼児期の発達課題及び心理学的問題（森田）
- 第3回 ボウルビーの発達課題を中心にして児童期の発達課題及び心理学的問題（森田）
- 第4回 児童期の発達課題及び心理学的問題（特に虐待と学校における問題）（森田）
- 第5回 ボウルビーの発達課題を中心にして思春期の発達課題及び心理学的問題（森田）
- 第6回 思春期の発達課題及び心理学的問題（思春期の不安定と精神的問題）（森田）
- 第7回 ボウルビーの発達課題を中心にして成人期～壮年期の発達課題及び心理学的問題（森田）
- 第8回 成人期～壮年期の発達課題及び心理学的問題（家族の関係と壮年期の心理的問題）（森田）
- 第9回 老年期の位置づけとコミュニケーションの基本（森定）（遠隔授業：オンデマンド配信）
- 第10回 老年期の課題とコミュニケーション方法 - 認知症の特徴と対応について - ①（森定）  
（遠隔授業：オンデマンド配信）
- 第11回 老年期の課題とコミュニケーション方法 - 認知症の特徴と対応について - ②（森定）  
（遠隔授業：オンデマンド配信）
- 第12回 老年期の方へのコミュニケーション方法 - 老人保健施設での集団療法、回想法、コラージュ療法 - ①（森定）  
（遠隔授業：オンデマンド配信）
- 第13回 老年期の方へのコミュニケーション方法 - 老人保健施設での集団療法、回想法、コラージュ療法 - ②（森定）  
（遠隔授業：オンデマンド配信）
- 第14回 死への対応 1（講師非公表）
- 第15回 死への対応 2（講師非公表）

### ■ 評価方法

レポート100%

## ■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

復習を行い、分からないことは随時授業内で質問すること。

発達というのは、概念的なものではなく、そこにはそれぞれが過去に通過してきた哲学がある。したがって、人に関する、あるいは、発達と心のありように関する様々な書物に触れながら、自分に目を向けるように心がける。本講義の課題であるレポートはそれぞれの自己に対する振り返りになるため、その際にどのような気づきを得たかが中心になる。レポートの中ではその書物を参考にできるようにしていただきます。

## ■ 教科書

## ■ 参考図書

## ■ 留意事項

新型コロナウイルス感染症対策や不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する可能性がある。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況や入構禁止等の措置を講じた場合は、評価方法を変更することがあり、評価方法を変更する場合には、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。